



躊躇なく政策を実行へ

衆議院議員選挙の投開票が2月8日に実施された。昨年の政権発足当初は新政権が選挙で国民に信任されていないと一部で批判され、それが政策推進の足枷となっていた。今回の解散総選挙には賛否両論はあつたものの、選挙で禊を済ませたことで高市政権は安定政権となり、躊躇なく政策を実行できる。防衛や食品消費税ゼロ、レアアース、維新との連立継続による大阪の副首都構想などを含めて改めて高市政権の政策に絡む銘柄をチェックしておきたい。

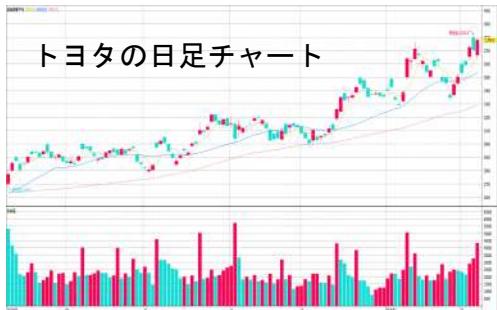
防衛、レアアース、副首都構想など

# 高市関連銘柄を再点検

0) などの資源開発が注目されよう。  
選挙の公約では食品の消費税ゼロが数年の期間限定ながら盛り込まれていた。イオン（8267）、業務スーパーを運営する神戸物産（30）など。  
（統合型リゾート）の運営元であるオリックス（8591）や京阪ホールディングス（9045）、阪急阪神ホールディングス（9042）などが注目される。

衆院解散にあわせ  
大阪府の吉村洋文知  
事と大阪市の横山英  
幸市長が辞職し、出直  
しのダブル選が行われ  
た。大阪都構想や  
副首都構想の具体化  
が期待されることか  
ら、30年に大阪市  
で開業を目指すIR  
(統合型リゾート)  
の運営元であるオリ  
ックス(8591)  
や京阪ホールディング  
ス(9045)、  
阪急阪神ホールディ  
ングス(9042)  
などが注目される。





# 自動車下げ目立つ

## 急激な円高で収益悪化を警戒

## 自動車下げ目立つ

## 急激な円高で収益悪化を警戒

（3103）がストップ高、昨年来高値を更新した。A1データセンター向けのガラス繊維の品薄が深刻化するなかで同社でもプリント基板用ICクロスなどの需要増が期待される。株価が比較的低位で放置されていることも買いを誘つており、2Qの連結経常利益は前年

27日、ユニチカ  
同期比4・2倍に急  
上昇

拡大しており、3Q決算への期待も強い。

0万円(同5・9%増)へ上方修正、期末配当を63円から173円(前年同期63円)

インソース大幅続落  
0)が大幅続落。26年9月期の第1四半期決算は、連結営業利益で前年同期比4・0%減の14億10

0万円となつた。講座設定数の不足で受講者数が減少した。

半期決算は通期正と増配が相次いで引き続き決算内容をチクして政策に乗る好決算銘柄を狙いたいと思います。政上

の急騰した。メタ・プラットフォームズとAIDIデータセンターや光ファイバー向けケーブルについて、2030年までに最大60億ドルを支払う契約を結んだと伝わった。コーンングはケーブル工場を拡張中とされている。

## 電線コーニング急騰

花咲翁



# 政策に乗る好決算銘柄狙う

## 1月第5週の動意銘柄

## ケミプロ化成4連騰

ケミプロ化成

（4960）が4連騰。高市首相がペロブスカイト太陽電池の普及に意欲を示していることが再度材料視された。ペロブスカイト太陽電池用材料の開発が産総研「被災地企業等再生可能エネルギー技術シーズ開発・事業化支援事業」に採択されている。

正直じいさんの株で大判小判

前週の東京市場は3週ぶりに反発しました。日経平均は前の週から930円上昇しています。週初は乱高下の末、大



# 富士ダイス一時S高

## 人口ダイヤ米投資第1号案件

# 千代化は大幅増額

ヤーで遂行中のLN  
Gプロジェクトの完  
成工事高と採算の見  
直しなどが寄与した。  
**ステラファーマ急伸**  
ステラファーマ(4  
888)が急騰。大  
阪医科大学、住  
友重機械工業(63  
02)と大阪医科薬  
科大学が実施する医  
師主導治験に関する  
契約を締結したと発  
表した。IDH遺伝子  
野生型再発膠芽腫患  
者を対象としたBN  
CT試験で有効性と  
安全性を検証するこ  
とを目的としている。

# ステラファーマ急伸

28日、富士ダイ  
ス(6167)が一  
時ストップ高。日米  
関税合意に基づく総  
額5500億ドル  
(約85兆円)の対  
米投融資について、  
人工ダイヤモンドを  
米国内で生産する計  
画が有力候補になつ  
て、(6月25日)関連

と合わせて「第1号  
案件」として発表し  
たい考え。旭ダイヤ  
モンド（6140）  
もストップ高。

信越化15%減益で売出  
信越化学工業（4  
063）が大幅反落。  
26年3月期の第3

四半期累計決算は、連結営業利益で前年同期比14・8%減の4980億2600万円となつた。予想に対し概ね8割の進捗にとどまつたが、伸びの強い市場にシリコンウエハー、フロントオートレジスト、マスクブランクスなどの半導体材料が伸びしれた。同時に2368万1700株の株式売り出しを発表した。

# 個人投資家向けＩＲセミナーin大阪



# 新田ゼラチン (4977) *Connect and Create*

2026年2月14日（土）参加費無料

# 株式評論家 高野恭壽氏の株式講演会

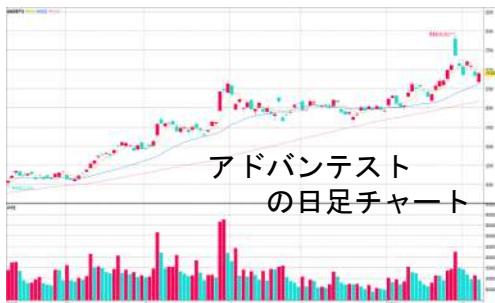
参加申し込みは [info@marketpress.jp](mailto:info@marketpress.jp) から！

主催：株式市場新聞社 場所：大阪産業創造館

6階会議室（堺筋本町駅[出口1]徒歩3分）

13時開場、13時30分開演





週明け2日、  
第一稀元素化学  
工業（4082）  
と東洋エンジニアリング（63  
30）がストップ高となり、ア  
サカ理研（5724）

などリアアース関連  
が値を飛ばした。南  
鳥島沖で行われてい  
る国産リアアースの  
試験採鉱について、  
水深6000メート  
ルからのリアアース  
泥の回収に成功した

と報じられたことが  
好感された。

たことで、収益への影響が懸念された。トランプ米大統領がタカ派とみられているウォーシュ氏を次期FRB議長に指名すると表明、ドル相場反転が意識され、

（6920）が続落（6年3月期）の業績予想について、連結売上高で2200億円（前期比1200億円減）、営業利益で580億円（同180億円減）へ上方修正し、一部製品売上前倒しと為替の影響を考慮したが、市場の期待に届かなかつた。

# アドテスが最高値 増額で37%増収営業益倍増

週末30日、キオクシアホールディングス（285A）が大幅高で連日の最高値。米サンディスクが発表した10512月期決算は売上高が前年同期比6.1%増、純利益は7.7倍と大幅に拡大、市場予想も上回り、時間外で株価が15%強の大幅な上昇になつたことが刺激になつた。データセンターや売上高が前四半期比6.4%増と大きく伸び、全社収益を牽引。また、同社と

共同投資する四日市工場の合弁契約を5年間延長することも発表している。

サプライチェーン拡大、生産数量の増加

などで高水準なテス  
タ需要継続を見込む

## キオクシアが新値追い

## 心配の種

先週の東京株式市場は反発しました。日経平均は火曜日に最高値を更新。TOPIXは金曜日に同じく最高値を更新。8日の衆院選での与党圧勝観測が株価を押し上げました。

ただ、心配の種があちこちに見られます。貴金属相場が乱高下し、仮想通貨が底割れとなりました。そのためNY市場ではリスクオフムードが高まりつつあり、5日段階でS&P 500が13週線割れ、NASDAQは26週線割れとなりました。また日経平均との連動率が高い半導体SOX指数が25日線割れとなりMACDが陰転しました。これらの悪い流れが断ち切られない場合、東京市場も悪影響を受けるかもしれません。

8日の衆院選の結果次第のところはあります  
が、与党圧勝をほぼ織り込んでい  
るものと思われ、今週ピークを迎える決  
算発表を手掛かりに個別物色中  
心の一週間となりましょう。

日々勇太朗

## 2月第1週の動意銘柄

マキタ増額自社株買い  
マキタ（6586）がストップ高。26年3月期の連結営業  
社債償還資金などに充てる。希薄化率は最大で40.44%。

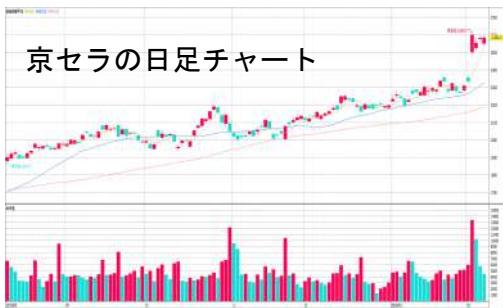
利益を950億円から1000億円（前  
期比6・6%減）へ上方修正し、発行済  
株式の3・785%にあたる1000万株の自己株式取得  
の設定を発表した。

金価格に下押し圧力  
が強まつた。

心配の種  
転ばぬ先のテクニカル

先週の東京株式市場は反発しました。日経平均は火曜日に最高値を更新。TOPIXは金曜日に同じく最高値を更新。8日の衆院選での与党勝観測が株価を押し上げました。

ただ、心配の種があちこちに見られます。貴金属相場が乱高下し、仮想通貨が底割れとなりました。そのためNY市場ではリスクオフムードが高まり、米国長期債の



971) が3日連騰、昨年来高値を更新した。26年3月期の業績予想の修正を発表、連結売上高で1兆9500億円から2兆200億円(前期比0・3%増)へ、営業利益で700億円から1000億円(同3・7倍)へ上昇修正した。半導体関連事業における需要が高水準で継続している。第3四半期累計の営業利益は7億2100万円

## 任天堂は急落し安値

## 3Q予測下回りメモリ高騰懸念

# 任天堂は急落し安値

## 3Q予測下回りメモリ高騰懸念

ヤマハ発動機(7272)が急反落。2年12月期の連結

京セラ3連騰で新値

## 半導体関連高水準で上方修正

ら2050億円（前期比8・2%減）へ、営業利益で400億円から410億円（同3・9%減）へ上方修正した。為替動向と主に一般産業向けビジネスが前回予想を上回る見込みのため。

ヒロセ電上方修正

5日、オルガノ（6368）が急続落。26年3月期第3四半期累計の連結決算は、営業利益261億円（前年同期比32・2%増）と大幅増益で着地したが、直近3カ月の10か月期87億円と12月期80億円と6%弱に増益幅が縮小していることで、通期計画の360億

6年3月期の第3四半期累計(4)12月)決算を発表、連結営業利益で前年同期比2・1倍の34億9700万円と大幅

円（前期比15.7%増）の未達成を警戒した売りに値を崩した。水処理エンジニアリングの増益率が低下しており、株価が上場来高値圏にあつたことで売り急ぎの動きになつた。

# オルガノは未達警戒

トツブ高まで買われた。ダイヤモンド単結晶で従来の形状を上回る大型単結晶を開発、人工ダイヤモンド宝石（LGD）市場向け種結晶やデバイス関連研究向け基板を手掛けていることから日米関税交渉の第1弾プロジェクトで人工ダイヤモンド生産プロジェクトが浮上していることを受けて人気を集めている。

業績について、最終利益を450億円から165億円（前の期比4・7%減）へ大幅に下方修正した。繰延税金資産取崩し金額を精査した結果、法人税等調整額325億円を計上する。収益減少に伴い年間配当金を50円から円（前の期50

## キオクシア連日の最高値

場予想も上回り、時間外で株価が15%強の大幅に上昇した。三一タセントー向け売上高が前四半期比で64%増と大きく伸び全社収益を牽引。また、サンディスクは共同投資する四日市工場の合弁契約を34年12月末まで延長することも発表した

イビデン（4062）が急反落。26年3月期第3四半期の連結決算は営業利益445億2700万円（前年同期比27・7%増）だつたが、市場予想に届かなかつた。AIサーバ関連は順調ながらPCや汎用サーバなどは想定を下回り、通期計画の上振れ期待が後退。総額5000億円規模のICパッケージへの大型投資による負担も警戒された。

# 高野恭壽の 株式情報 これでどや!!



株式市場新聞の名物コーナーが復活！

ノループは  
銘柄はもち  
医薬品のア  
ループは  
中外薬  
が上昇し  
大手ゼネ  
コンも清  
水建、大  
成が大き

H D でいいで  
しよう。好決  
算銘柄の物色  
が続き、不二  
製油（260  
ク（6383  
も注目され  
うです。

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 株式市場新聞  
大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て  
株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タ  
カさんの新鮮・株情報」をはじめT V、ラジ  
オに出演。「株式投資30カ条」など著書も。

公式ホームページ

<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

先週末の日経平均は調整色の強い動きになりましたが、週末6日は売り一巡後から急速に戻して435円64銭高で終えています。5日には米国のNASDAQ市場が大幅続落し、ロームやダイキン、ソフトバンクG、NECなどの下落が目立ち、半導体系のレゾナック、アドバンテスト、ディスコ、スクリーン、レザーテックなども売られていました。銀行が決算前に債権の含み損を埋めるため

電力ホールディングス（9501）が原発の再開を来週と発表しました。予想通り早期の再稼働となります。これによつて、650円近くまで目先は戻すと

# 東電HDを改めて狙う

東京へ戻しました。

## 高トップストップ電機一電山

## DC向け拡大で上方修正、増配

トヨタ自動車（7203）は小動き。場中に発表した26年3月期第3四半期累計の連結決算は、営業利益3兆1967億円（前年同期比13・1%減）で着地、ドル円を146円から150円に修正するなど為替前提を見直したことで、

トヨタ増額も予想通り

や高付加価値・高機能製品の拡販、コストダウン施策の効果が表面化した。

円から95億円（前  
期58億5100万  
円）へ上方修正した  
不採算販売の見直し  
→高付加価値高機

トツブ高。この日1  
1時に26年10月  
期予想について、連  
結営業利益で75億

力週末6日、ユニチ  
(3103)がス

機能品拡販

ユニチカが

ソリューションの好  
調に加え、A.I.を含

富士製薬（4554）が一時ストップ高。26年9月期の業績予想の修正を発表、連結売上高で574億9000万円から592億5000万円（前期比14・7%増）へ、営業利益で55億2000万円から61億2000万円（同22%増）へ上方修正した。主力製品の順調な販売は今後も継続くと見込まれる。

# 富士製上方修正高

通期予想を3兆4000億円から3兆8000億円（前期比8%減）に上方修正したが、ほぼ市場予想通りで反応は限られた。ただ、一般地合いが強く、大引けにかけ水準を上げた。

## ～決算情報～

日本精線

カプコン

### 建築関連の低調で3Q減益 半導体向けNascleanは伸びる

日本精線（5659）の今26年3月期の第3四半期累計（4～12月）決算は、連結売上高346億5500万円（前年同期比2.3%減）、営業利益21億4000万円（同38.8%減）、純利益15億5300万円（同37.1%減）となった。ステンレス鋼線は、高機能・独自製品であるばね用材や自動車向けなど一部アイテムで増加したが、建築関連向けの鉄螺用材が引き続き低調に推移。半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（Nasclean）は、AIやデータセンター向け半導体需要の高まりを背景に、半導体製造装置メーカー向けを中心に伸びている。

通期は売上高435億円（前期比7.0%減）、営業利益32億円（同30.1%減）、純利益23億円（同29.2%減）の従来予想を据え置いた。

あじかん

### 機能性表示食品は好調 原料高騰と需要減退で3Q減収益

あじかん（2907）の26年3月期の第3四半期累計（4～12月）決算は、連結売上高で387億3400万円（前年同期比0.1%減）、営業利益で7億1200万円（同66.7%減）、純利益で6億1500万円（同62.3%減）となった。

販売面においては米や海苔などの価格高騰により主力製品を多く使用した巻寿司の需要が減退したこと、玉子製品やかに風味蒲鉾などのすり身製品、味付かんぴょうなどの野菜加工品の需要が減少した。一方、ヘルスフードは、「焙煎ごぼう茶ごぼうのおかげW」をはじめとした機能性表示食品が伸びている。

通期は売上高510億円（前期比0.1%減）、営業利益11億円（同44.0%減）、純利益9億円（同41.9%減）の従来予想を据え置いた。

### 第3四半期は9割営業増益 通期9期連続最高益達成へ順調

カプコン（9697）の26年3月期の第3四半期（4～12月）決算は、連結売上高1153億1500万円（前年同期比29.8%増）、営業利益543億0200万円（同75.1%増）、純利益388億8500万円（同68.6%増）と大幅な增收増益で着地した。

「バイオハザード ヴィレッジ」や「バイオハザード：RE4」などの過去作の販売が継続し、「ストリートファイター6」が、6月のニンテンドースイッチ2への移植販売に加え、eスポーツ展開との連携などにより収益に貢献した。

通期予想の連結売上高1900億円（前期比12.0%増）、営業利益730億円（同11.0%増）、純利益で510億円（同5.3%増）の13期連続営業増益かつ全ての利益項目での9期連続最高益達成へ向けて順調だ。

ハリマ化成G

### 通期利益予想を上方修正 半導体レジスト用樹脂が伸びる

ハリマ化成グループ（4410）は26年3月期通期の連結業績予想について、売上高は1080億円（前期比6.9%増）と期初予想を据え置いたが、営業利益を30億円から33億円（同58.4%増）、最終利益を12億円から18億5000万円（同2.4倍）に上方修正した。

売上高は塗料用樹脂の新製品投入効果と半導体レジスト用樹脂の伸びで製紙用薬品の価格低下やローター事業の伸び悩みをカバー、樹脂・化成品事業の增收と米国での製紙用薬品拡販、持分法投資利益が収益を押し上げる。

第3四半期累計の連結決算は、売上高779億400万円（前年同期比2.9%増）、営業利益26億6200万円（同36.8%増）、最終利益18億400万円（同2.5倍）で着地した。

## ～決算情報～

荒川化学工業

### 3Q8割営業増益で着地 機能性コーティング材料収益牽引

荒川化学工業（4968）の26年3月期第3四半期累計の連結決算は、売上高613億7300万円（前年同期比1.9%増）、営業利益18億3000万円（同80.4%増）で着地した。

スマートフォンの出荷台数の回復や半導体、生成AI、データセンターなどの注力分野で光硬化型樹脂が伸び、ファインケミカル製品とハードディスク用精密研磨剤の販売も過去最高水準を維持、機能性コーティング材料事業が全社収益を牽引した。千葉アルコンの稼働率改善により、粘接着・バイオマス事業の赤字も縮小した。

通期は売上高850億円（前期比5.9%増）、営業利益28億円（同2.6倍）と期初予想を据え置いた。第2四半期末、期末各々25円、年間配当は50円を計画。

英 和

### 第3四半期10%営業増益 更新需要やDX投資、造船向けなど増加

英和（9857）の26年3月期の第3四半期累計（4～12月）は、連結売上高337億2600万円（前年同期比4.5%増）、営業利益20億7900万円（同10.3%増）となった。電力業界、製造用機械・電気機器業界向けの販売が減少したほか、社会インフラ分野で活用される特殊車両は、トラックシャーシの出荷遅延や架装工程を伴う車両の長納期化の影響を受け販売が減少したが、化学業界、鉄鋼業界の定期修理に伴う更新需要や生産性向上を目的としたDX投資を取り込んでいる。また、生産設備の稼働率が高い造船業界向けの販売や、大型の設備案件の完工により建設・プラント業界向けの販売も増加。

通期は売上高485億円（前期比2.5%増）、営業利益28億6000万円（同2.6%増）を据え置いた。

TOA

### 3Q8%增收7割超の増益 官公庁向けなど国内伸び収益牽引

TOA（6809）の26年3月期第3四半期累計の連結決算は、売上高386億3700万円（前年同期比7.7%増）、営業利益30億8700万円（同70.8%増）、最終利益22億3900万円（同73.6%増）と增收大幅増益で着地した。

国内で官公庁やオフィスビル、宿泊施設に加え、海外の鉄道車両向けが伸び全社収益を牽引した。海外もアメリカで小売店や工場、カナダで教育市場や鉄道施設、インドネシアで首都移転に伴う新庁舎、中東では都市開発プロジェクト向けなどへ納入が進んでいる。

通期は売上高545億円（前期比7.7%増）、営業利益45億円（同25.3%増）、最終利益27億5000万円（同16.1%増）と期初計画を据え置いた。年間配当は85円（前期40円）を予定。

昭栄薬品

### 第3四半期は7.4%增收 化学品堅調で日用品も売行き好調

昭栄薬品（3573）の26年3月期の第3四半期累計（4～12月）は、連結売上高202億7900万円（前年同期比7.4%増）、営業利益3億9100万円（同21.3%減）となった。

化学品事業では国内外で景気が底堅く、自動車関連や繊維油剤関連の主要得意先からの受注（数量）が堅調に推移。また、販売価格に影響を及ぼす天然油脂相場価格は前年の高値から下落したが反転し、販売価格は比較的高値水準で推移。日用品事業では掃除用関連商品や生活日用品（洗濯槽クリーナーや用途別脱臭剤など）の一部定番商品や忌避剤など季節性商品の売行きが好調に推移している。

通期は売上高244億6400万円（前期比2.2%減）、営業利益4億500万円（同27.5%減）を据え置いた。

の運用スタイルを確立する方が良いと思う。  
仕事が忙しいと勉強する時間もないのだが。樂して利益を追及は難しいとは思う。



の建設や機械株ばかりを売買しているが、毎月数万円の利益を出している。何で運用するかは得意分野があるから正解はないが、自分自身が無理せず納得できるならそれが正解になる。ロボアドバイザーなどAI?による自動売買らしいが、運用方針を決める上では自動で色んなもので自動で売買してくれる。筆者も少額を試しに運用してみたが、数週間経過して元本近辺を前後で推移している。1年とかある程度経たないと評価ができないが、やはり勉強して自分自身

株式関係の仕事をしていると、ひと昔前なら「面白い銘柄ない?」と聞かれることが多かつたが、最近では「ウエルスナビとかロボアドバイザーならどれが良い?」と聞かれることが増えてきた。

筆者が自分の資産で運用する場合は225先物〇Pが7割で個別株が3割程度。会社の元同僚はスタンダード市場の低位

# 星野三太郎の 株街往来

## ～自動運用は良いのか？～

# モロゾフ 層ごと異なる食感に驚き バレンタイン限定チョコスイーツ

# 限定デザインにアレンジ ひなまつりショートケーキ予約開始



## 濃密プレミアムチ ョコレートプリン

「グルモルトウイスキー」のフレッシュな香りと「フランス産ホワイトチョコレート」クリームの纖細な甘さがチョコレートの味わいをさらに引き立てる。「パリッ ふわっ とろっ」それぞれの層ごとに異なる食感が食べた時の驚き、楽しさをもたらす。

「グルノーブル(スプリングハート)」チョコレートスポンジケーキで、ウォールナッツ入りのチョコレートクリームをサンド。かわいらしいピンクのチョコレートコボで仕立てた、バレンタイン限定のチョコレートケーキ。

## ひなまつりショートケーキ

なまつりショートケーキ」の予約を開始した。子供の成長を願う「ひなまつり」にあわせて、定番のストロベリーショートケーキとミルクチョコレートケーキを限定デザインにアレンジ。口どけのよいスポンジとコクのあるクリーム、そしてみずみずしい苺を贅沢に使用したストロベリーショートケーキをはじめ、ミルクチョコレートケーキ、ベルギーチョコレートケーキ、モンブラン、プラチナレアチーズケーキ、ガトーショコラと幸せが広がるアニバーサリーケーキを取り揃えている。

# 潮流 日本を再び「稼げる国」に 高市政策はこれからが本丸



720円66銭を記録し、前日比2065円高（上昇率約3.9%）と年初来最大の上昇幅となった。衆院選で与党優勢が伝わり「自民党単独で過半数」が日本株の追い風になっている。報道の真偽は別として自民党が単独で過半数を獲得すれば、日本の政治と経済は明確な転換点を迎える。

高市総理が掲げてきた政策は、これまで連立や国会運営上の制約によって「構想はあるが、実行が追いつかない」状態に置かれてきた。しかし単独過半数の獲得は、その足かせを一気に外し、「決めたことを、決めたスピードで実行する政治」への移行を意味する。6月に策定される「骨太方針」は、反対議員や官僚機構への過度な忖度を排し、高市総理自身が描いてきた国家像と経済戦略を、正面から打ち出す内容になる可能性が高い。予算委員会、法務委員会、憲法審査会といった重要委員会の委員長をすべて自民党が握ることで、政策決定と立法のスピードが飛躍的に高まる点に本質がある。

これまで、委員長ポストを他党が持つことで、審議入りすらできなかつた法案や、骨太方針に盛り込めなかつた改革項目が一氣に前進する。

高市総理が演説で繰り返し強調してきた「これからが本丸」という言葉は、まさにこの局面を指している。食料、エネルギー、医療、サイバー、インフラといった分野に国が本気で投資し、技術を社会実装し、国内で

にて1万人超の参加者の  
中から優勝。2002年  
にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システム  
が紹介された。直近では2024年3月の夕刊フジ  
主催の「株・1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト  
ト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く  
執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービス  
を行う。

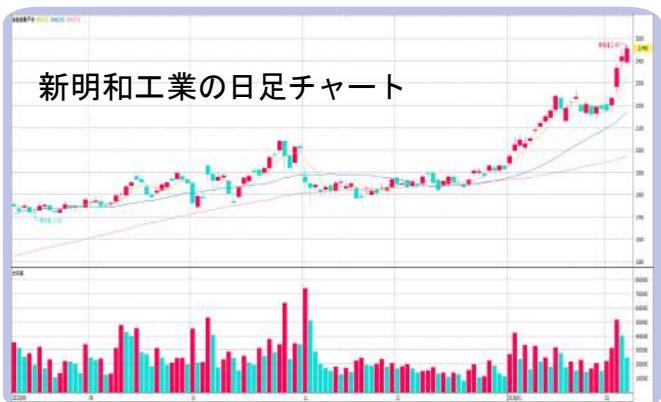


岡山 憲史氏（株式会社  
マーケットバンク 代表取  
締代行）

生産し、国民が使い、さらに海外へ展開することで、日本を再び「稼げる国」に戻す。必要な投資は当初予算に計上し、補正予算に頼らない持続的な成長戦略を描く。

これは単年度の景気対策ではなく、日本経済の体質そのものを変える試みである。企業は政府の長期的なビジョンと継続した予算が見えれば、将来への投資を増やすだろう。企業の新規投資は需要拡大につながる。内需が拡大することで、新ビジネスや規雇が生まれる。そうなれば企業は供給を拡大する。需要と供給が共に増加するような景気循環が續けば、大企業だけでなく、中小企業の収益が伸びる。その役割を政府が先導して行う。高市政策で日本経済が復興し、国民が希望を持って、安心して暮らせる日が訪れる事を願う。

潮流銘柄は新明和工業(7224)、群馬銀行(8334)、日本管財ホールディングス(9347)。



需要、供給とともに拡大



## 敏腕先物ディーラー

# ハチロクの裏話

## ハチロクのプロフィール 証券アナリストから証券会社

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



## 自民大勝でも売りは出る？

## 日経平均の調足チャート



## ドル田の日足チャート



今後も当面はボラティリティの高い相場展開になると思われ、「突っ込み買い」に徹したい。今週のレンジは5万4000円～5万6000円を想定する。(ハチロク)

先週の日経平均は前週末比約930円高となり、5週連続で週足陽線となつた。5万円台に入りナイトセッショントレードを入ると上下幅があまりに激しい相場である。

そんな中でも5週連続

で陽線になつてゐることは大変強い相場であるとの証左だ。先週も金相場や仮想通貨の大幅下落があつたが、日本株は売られた後きつちり買入つて値を戻してゐる。

8日の選挙で自民党が大勝するとの観測で相場は動いてゐるが、織り込み感も漂つており、今週は自民党が大勝しても週の後半からは売

今週は2月限のSQ週で  
もある。高値圏にいるため  
コールを絡めた仕掛けがし  
やすい状態であり、想定以上  
の上昇もあり得よう。反面、  
その反動で「アイランドリバ  
ーサル」も発生しやすい局面  
でもある。

に1月CPIが発表予定で注目材料となる。金利の上昇が見込まれる日本市場は裁定取引業者から見れば、大きく動かして鞘が取りやすい市場になつてゐるようだ。

# 突つ込み買いに徹つする

ハイボラティリ  
ティの相場続く

りが出る可能性は高い。  
選挙結果でまずは与党の  
絶対安定多数 261議席  
参院で否決された法案の  
衆議院再可決ができる 3  
10議席を獲得できれば  
大幅高も期待できよう。  
だが、同時に為替も円  
安に進もう。1月末にレ  
ートチエックした水準に  
戻りつつある。今度は実  
弾の介入が入る可能性も  
高く要注意だ。

## 日経225先物日足チャート



## 選挙後高市発言に注目

## 相場見通し

記者の視点

タツクが5日まで大幅に3日続落となり、調整色を強めている。20000億ドルの資本支出見通しが嫌気されアマゾンが5日引け後に時間外で急落。メモリ高騰を受けて物色されていたサンディスクなどストレージ関連も値を崩して、これがキオクシアホールディングス(285A)など、の利益確定売りに拍車をかけていた。その一方で大林ラ(1802)や不動テト(1813)が最高値を更新、みずほ(8411)が最高値を

Qまでの立ち合い日数からも、日々に3月限月へのロールオーバーが進んで先物経由での動きも一旦は落ち着くだろう。米国では10日に1月小売り上高、

## 当面のスケジュール

- ・ 9 日 1月景気ウォッチャー調査
  - ・ 10 日 1月マネーストック  
1月工作機械受注  
米12月小売売上高  
米12月中古住宅販売件数
  - ・ 11 日 休場：東京市場（建国記念日）  
米1月雇用統計
  - ・ 12 日 1月国内企業物価指数  
米1月中古住宅販売件数
  - ・ 13 日 米1月消費者物価
  - ・ 16 日 休場：米国市場、中国（～23日）、台灣（～20日）、韓国（～18日）
  - ・ 17 日 12月第三次産業活動指数
  - ・ 18 日 1月貿易統計  
米1月鉱工業生産・設備稼働率  
1月27・28日開催のFOMC議事録
  - ・ 19 日 12月機械受注  
米12月貿易収支
  - ・ 20 日 1月消費者物価  
2月S&Pグローバル日本製造業PMI  
米12月個人所得・個人支出・デフレーター  
米10-12月期GDP速報値  
米2月S&Pグローバル米国製造業PMI

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。

marketpress

衆院選投票日の8日は発達中の低気圧の影響で強い冬型の気圧配置になり、普段雪の少ない東京や近畿地方の平地でも積雪が予想されている。すでに雪による被害が連日報告されているが、警報級の大雪になる地域が多く、積雪や凍結による交通障害に警戒が必要で、投票所には急がず足もとに気を付けて行くしかない。東京市場は与党圧勝を織込み、日経平均、TOP-I-Xとともに最高値を更新した。ただ、貴金属市況をはじめ不透明要因が明白押し。急いで高値掴みにならないよう注意したい。

衆院選投票日の8日は発達中の低気圧の影響で強い冬型の気圧配置になり、普段雪の少ない東京や近畿地方の平地でも積雪が予想されている。すでに雪による被害が連日報告されているが、警報級の大雪になる地域が多く、積雪や凍結による交通障害に警戒が必要で、投票所には急がず足もとに気を付けて行くしかない。東京市場は与党圧勝を織込み、日経平均、TOP-I-Xとともに最高値を更新した。ただ、貴金属市況をはじめ不透明要因が明白押し。急いで高値掴みにならないよう注意したい。

## 編集後記